

令和13年(2031年)
第30回全国障害者スポーツ大会
開 催 要 望 書

令和2年11月27日

奈 良 県
奈 良 県 教 育 委 員 会
奈 良 県 障 害 者 ス ポ ー ツ 協 会

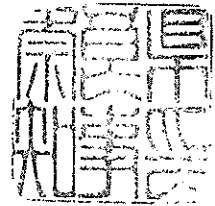
開 催 要 望 書

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会会長 鳥原 光憲 様

令和13年の第30回全国障害者スポーツ大会を奈良県において開催いたしたく、別添要望趣意書に奈良県議会の決議を添えて要望します。

令和2年11月27日

奈 良 県 知 事 荒 井 正 吾



奈 良 県 教 育 委 員 会 教 育 長 吉 田 育 弘

奈 良 県 障 害 者 ス ポ ー ツ 協 会 会 長 川 手 健 次



要 望 趣 意 書

全国障害者スポーツ大会は、障害者スポーツの全国的な祭典として、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与してきました。

奈良県では、昭和59年、「この力 伸ばそう 生かそう たくましく」をスローガンに第20回全国身体障害者スポーツ大会「わかくさ大会」を開催しました。本県選手団の活躍や、県民総参加で大会を支えた自信と誇りは、その後の本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、県勢発展の原動力となりました。

全国障害者スポーツ大会を本県で開催することは、「だれもがいつでも どこでも スポーツに親しめる環境づくり」を推進し、障害のある人のスポーツ活動への参加と交流の促進に寄与するとともに、本県が目指す「健康寿命日本一」の実現に大いに資するものと確信しています。また、来県される多くの方々に、本県が有する自然・歴史・文化の魅力を体感いただける絶好の機会になるものです。

全国障害者スポーツ大会の招致は、スポーツ関係者をはじめ、県民をあげての強い願いであることを御賢察いただき、令和13年の第30回全国障害者スポーツ大会を本県で開催できますよう格別の御高配をお願い申し上げます。